



第2回協議の場では、協議委員のみなさんからの情報提供を元に、阿久比町の現状について情報共有しました。「産業」「子育て」「教育」「農業」…

各グループでの議論も白熱しました。グループワーク後、ファシリテーター水谷さんからは、「言葉にならないくらい感動を感じている。どのグループも可能性に溢れている、何か生まれる気がします。」という言葉がありました。

地域をつむぐ「緑結び人」
養成塾 実践研修モデル
協議の場①阿久比町

グループ発表 1、2

ファシリテーター、事務局より 2

参加者アンケート 3、4

第1回からの変化 (口慣らし) 4

2012. 11. 7

NO. 2

「みんなで作る あぐいの夢事業」

協議の場ニュースレター

平成24年10月26日(金)9:30から阿久比町中央公民館にて、第2回協議の場が開催されました。第2回に引き続き、顔合わせをし、『個々の10年後と具体的な取り組み』というテーマで話し合いをしました。

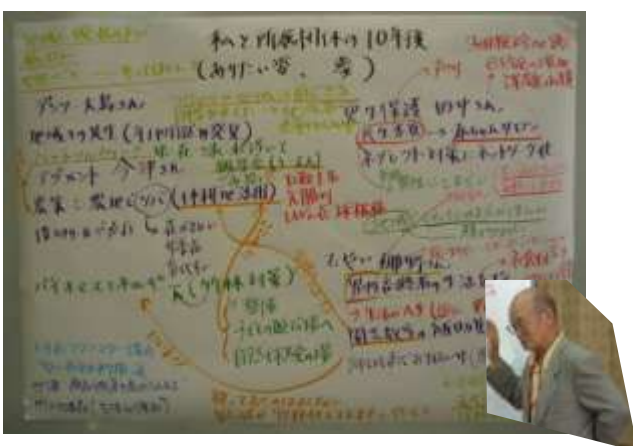
■グループ発表 “個々の10年後と具体的な取り組み”

《1グループ》



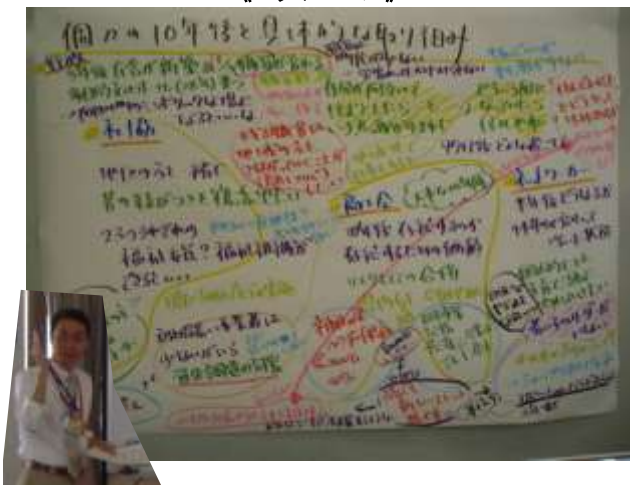
- ・お客さまの困りごとを一軒一軒聞き、話をする。その地域の声を協議の場で何かカタチになればいいな
- ・地域性を活かした第6次産業の創出を具現化していきたい。そこでは、地域課題も含めた自己完結型(=地域内循環)にしたい
- ・公務員は異動があるが、自分が地域の人にご縁をいただけて助けてもらったので、その人脈を次の人にも引き継げる方法はないか⇒気づき:個人としてつながっているから、役職でのつながりではない。“あなた”だからというつながり=人脈
- ・ぬくもりの会の次を担うボランティアの人材育成をしたい
- ・子ども、大人も皆が育つ環境をつくっていく

《2グループ》



- ・地域との共生を目指している
- ・バイオマスエネルギーの活用。竹林を整備し、子どもの遊び場や自然体験の場にしたい
- ・地域で叱ってくれる人がほしい。地域での顔のつながった関係づくりをしたい
- ・退職後の男性高齢者の生活支援をしたい。遊びや趣味など、自分の活躍の場をつくる方法を一緒に考えていきたい

《3グループ》



- ・組織として、10年後存続するための価値をつくっていく
- ・リタイア後、どんな過ごし方をしようかと考え始めた
- ・子育て活動に関わっていきたい。若いリーダーの育成のため、活躍できる場づくりをしたい
- ・地域の具体的な見守りをするための地区の助け合いの組織が全地区にできること
- ・10年後、職員が1/3入れ替わる中で、町民と新しい職員との顔つなぎをしたい
- ・『阿久比の価値＝小さなお金が回る仕組み』なるアイデアがキーワード！

■ 全体での意見交換

パワーとお金を持ったシニア世代と地主をつなげる

認知症の方、子ども、50～60代の認知症予防にも効果的！

福祉事業所の農地を貸すのあり？！



遊休地

板山では、耕作放棄地を活用して、金胡麻を栽培し始めた。

有効的な町の補助金なども使っていけるといい！

阿久比町にもバックアップしてもらいながら、役割分担をして、民間で動いていく。



■ ファシリテーター、事務局より

・第3回 11月7日(水)9:00～12:00 集合:8:50 阿久比町役場 時計台前です。
詳細は、別添資料をご覧ください。



・地域福祉サポートちたHPIに本誌を掲載したいのですが、みなさまのご了承を得てからにしたいと思います。
ご都合の悪い方は、事務局までお知らせください。

■ 参加者アンケート

1、本日の協議の場はいかがでしたか？全体の感想をお書きください。

- ・今日も色々な話が聞けて刺激になりました
- ・当社の地域との共生のあり方について、今までの領域を超えたコラボの可能性があるかもしれないと感じた
- ・世代間の意見を聞くことができ、参考になりました
- ・現在の問題点と将来のことを具体的に話し合えたと思います
- ・話が深まっていくのが実感できました
- ・前回よりもリラックスして参加することができました
- ・新しい発見に感動しました
- ・いろいろな年齢、立場の方の話を聞いていて、やはり共通点は、つながりだと感じました。それをどうつなげるのか、どう情報を伝えるかが大切であるが、難しいと感じました
- ・前回同様に非常に良い経験をさせていただきました
- ・非常に良い雰囲気楽しく協議ができました
- ・第1回で時間が足りない感想が、第2回でかなりの部分補われました

2、本日の目標『阿久比の未来を想像する』という点ではいかがでしたか？

- ・自分の延長線上の未来を想像するという今回のワークは、良かったと思います。(最後は勝手な想像が入ってしまっただけで「自分のできる」延長線の未来を話し合うことで接点が生まれるように思います)具体的には動かせません…⇒障がい者の田んぼ関係
- ・皆さん、様々な思いはあるが互いのコラボも可能である点に希望を見出した
- ・とても良い案が出て、話がふくらむと良いと思います
- ・実現できそうだと思います
- ・10年後のことを考える良い機会になりました。毎日の生活で手いっぱいの中、自分が10年後どうなっていたのか初めて考えた気がします。
- ・多くの資料をもとに、考える材料の整備ができました
- ・言いつ放しですみません
- ・前回より、少し想像が膨らんだと思います。回を重ねると、想像が具体化になるといいなとおもいました
- ・個々に想う10年後について、非常に熱い想いを聞くことができました
- ・少し商店が絞られてきたようですが、子育てと高齢者対策が中心になる傾向があるように思われます
- ・個々の未来像は想像できたが、それを共有またまとめていくには具体的なテーマがないと難しいです

3、今後の進め方についてご意見があればお書きください。

- ・特にこのままの方向で結構かと思います。今後もよろしくお願いします
- ・具体化に向けての深掘りした協議ができればと思っています
- ・どんな方向にいくのか楽しみです
- ・農業関係の事業に進んでいく気配を感じます

- ・ありません。現場見学が楽しみです
- ・第3回の現地見学を楽しみにしております
- ・目標の具体化、具現化が課題
- ・何か「か・た・ち」にしたいと思います
- ・次回も楽しみにしています
- ・自分でもまだしっかりと先が見えませんが、何とか役に立てるように頑張ります。
- ・可能であれば、各班のホワイトボード内容を事務局さんでまとめて、参加者に配布し、共有できるともっと良いと思います。(せっかくなので、他グループの意見をもっと見てみたい。)

■ 第1回からの変化(いいこと、いい兆し)

お米の収穫中です。

他地域では、早いところで1週間から長くて1か月というのに、2か月半も収穫できることは、有難い！



住民税1パーセント町民
予算枠に提案した“婚活事業”採択されました!!

阿久比の中で家庭を持つ
人は増えたらいいな♥



発行・お問い合わせ先: 地域福祉サポートちた

〒478-0047 知多市緑町12-1 知多市市民活動センター1階

TEL 0562-33-1631 Fax0562-33-1743

E-mail spchita@ams.odn.ne.jp 担当: 江ノ上